

# 自然派コスメのススメ

植物成分を多く使い、化学物質を控えた「自然派化粧品」の品ぞろえが充実してきた。ストレスなどで肌トラブルを自覚する女性や、環境に優しい商品に関心を寄せる人が増えていることが市場拡大の背景にあり、メーカー各社は差別化を図っている。

## 広がる支持

自然派化粧品とは、植物を主要な成分として配合し、化学合成物質をできるだけ使わず、製造過程も含めて環境に配慮したものを指す場合が多い。中でも有機栽培の植物エキスを使った化粧品は、オーガニックコスメと呼ばれる。商品選定の参考になるよう、日本オーガニックコスメ協会の推奨や、海外団体の認証を得ている商品もある。矢野経済研究所の調査では、2017年度の自然派

は、2017年度の自然派



### 1種類からでも使いやすい自然派化粧品

価格は希望小売価格。スリーは販売価格

| 美容液   | ふき取り美容液   | メイク落とし  |
|---|---|---|
| <b>ドゥーナチュラル<br/>インテンシブエッセンス<br/>「モイスタチャー」</b><br> | <b>Awake (アウェイク)<br/>リテクスチュアライジング<br/>セラム</b><br> | <b>スリー<br/>balancing クレンジング<br/>オイルR</b><br> |
| 2860円   | 4950円   | 4620円   |
| ブランド名<br>商品名  | ブランド名<br>商品名  | ブランド名<br>商品名  |
| 税込み価格   | 税込み価格   | 税込み価格   |
| メーカー名   | メーカー名   | メーカー名   |
| 特徴  | 特徴  | 特徴  |

天然精油100%、ストレス軽減効果あり

動物由来のものを一切使わない

新商品でオーガニック認証を取得

## 植物由来 ■ 使い心地もUP

・オーガニック化粧品の市場規模は、前年度比4.9%増の1297億円だった。化粧品市場全体の5%に相当する。22年度までは3.4%台の成長を維持すると予測している。

美容コンサルタントの岡部美代治さんによると、肌に優しいだけでなく、製品の機能や使い心地が向上したことや、容器のデザインが洗練されたことで、支持が広がっているという。

### ブランド続々

ちふれグループのジャパ・オーガニックは、新ブランド「ドゥーナチュラル」を8月から展開した。天然由来成分を90%以上配合したことや、着色料や防腐剤など七つの成分を無添加としたことが特徴だ。仕事や生活環境の変化で肌の悩みを抱えやすい20〜30歳代をターゲットとし、中心価格も2000円台に抑えた。ラベンダーなど天然精油の香りに、ストレスを軽減させる効果があるという。

ake (アウェイク) を昨年刷新した。動物由来の原料を使わず、動物実験もしないなど、環境への配慮を強く打ち出している。全商品に植物オイルを配合し、「熟睡後のような肌」を目指した。

ポーラ・オルビスグループのアクロは、茶の実から抽出したオイルや温泉水など国産原料を活用したブランド「スリー」で、基礎化粧品やメーカーキャップ用品を展開している。10月2日に、国際機関からオーガニック認証を得た基礎化粧品など7種を発売する。認証取得に伴い、天然由来率を98%以上にまで高めた。

### 選ぶコツ

各ブランドはいずれも、メイク落としや美容液といったラインアップをそろえているが、気になるものから始めてみるとよい。岡部さんは、「肌の状態や悩みは人それぞれ異なる。成分情報だけで選ばず、サンプル品などで肌への影響や感触、匂いを確認して選んでほしい」とアドバイスする。